

授業科目	人間関係論	1 学年・後期・1 単位 (15 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	(川俣智路) (-) e-mail : -	非常勤講師 連絡担当教員	澤田いづみ (保健医療学研究棟 E207 号) e-mail : izumi@sapmed.ac.jp
担当教員			
概要	<p>「こちらはこんなに頑張って関わっているのに、なぜ受け入れてもらえないのだろうか」、「なぜこの同僚は私にこんなに批判的なのだろうか」。人が人に何かを働きかける、たとえば援助するときや共同で仕事をするときには、活動が円滑に進むかに加えて人間関係が上手く築けるかどうかが重要となってきます。人間とは、この人と人との関わりを通じて変容したり成長したりするのです。</p> <p>本講義では、援助、指導、協働などに関わる人間関係について体験的に理解し、専門職としての成長を目指すものです。</p>		
到達目標	<p>対人関係に関連する理論について理解し、他人に説明することができる 自己理解、他者理解の方法を学び、対人関係に活かすことができる 対人関係に関連する理論を応用して、ロールプレイや実習などに活かすことができる</p>		
関連科目	臨床心理学、倫理と哲学、文化人類学、国際社会論		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	試験	40%	試験は短答式と論述式です。ワークは授業内に複数回実施し、レポートはワークに関するもので、A4 用紙半分が 1 枚程度の分量です。ワークやその解説があるため、出席は前提となっています。
	ワーク	45%	
	レポート	15%	
教科書	指定なし		
参考書	<p>①川瀬正裕, 松本真理子 他 [1997 年・1700 円+税] 「新 自分さがしの心理学—自己理解ワークブッカー」 ナカニシヤ出版</p> <p>②川瀬正裕, 松本真理子 他 [2001 年・2400 円+税] 「これからの心の援助 役に立つカウンセリングの基礎と技法」 ナカニシヤ出版</p> <p>③平木典子 [2008 年・1300 円+税] 「人間関係が驚くほどうまくいく言いたいことがきちんと伝わるレッスン」 大和出版</p>		
履修上の留意点	<p>この授業では対人関係の理論や実践について体験的にワークを通して学ぶ時間があります。ワークに不安があるなど、様々な事情から評価基準を満たすことが難しい場合には、授業の目的や評価の基準が変わらないような、代替の評価方法を準備できる場合があります。希望者は初回の授業終了時まで担当教員に相談して下さい。</p> <p>担当教員についてのプロフィールは、教員情報のウェブサイトをご覧ください (https://goo.gl/c8kpEZ)。</p>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	イントロダクション 事実と「ストーリー」の違い	事前：「ナラティブ」について検索してくる 事後：来週の演習ために授業内容を振り返る	講義	(川俣)
2	「ストーリー」の聞き方	事前：事前資料を読んでくる 事後：振り返りのレポートを書く	演習	〃
3	無知の姿勢 開かれた対人関係とは？	事前：事前資料を読んでくる 事後：紹介された文献に目を通す	講義	〃
4	自分について考える	事前：事前資料を読んでくる 事後：振り返りのレポートを書く	演習	〃
5	自己を知ることの意味を考える 私と集団の関係とは？	事前：事前資料を読んでくる 事後：紹介された文献に目を通す	講義	〃

6	言いたいことを伝える技術	事前： 事前資料を読んでくる 事後： 振り返りのレポートを書く	演習	〃
7	対人関係を円滑に進めるためのアサーティブな態度とは？	事前： 事前資料を読んでくる 事後： 紹介された文献に目を通す	講義	〃
8	援助における対人関係	事前： 事前資料を読んでくる 事後： 紹介された文献に目を通す	〃	〃